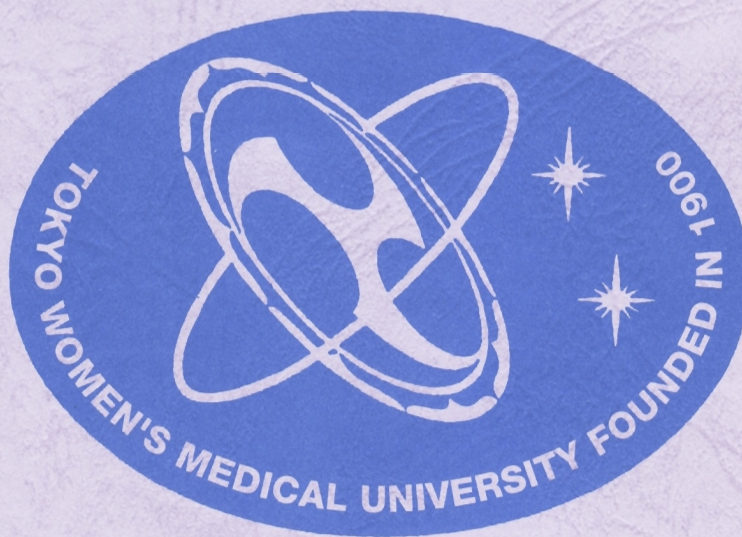


東京女子医科大学 看護学部紀要

**BULLETIN OF SCHOOL OF NURSING
TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY**



Volume 7

2004

東京女子医科大学 看護学部紀要

**BULLETIN OF SCHOOL OF NURSING
TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY**

Volume 7

2004

目次

< 退任教員特別寄稿原稿 >

- 光受容器と光受容細胞の進化
- 奇蹟の眼イソアワモチ背眼を中心として - 1
片桐 康雄

< 原 著 >

- 食生活の変化の中に表れた食の伝承に影響する要因
- 農村社会に暮らす高齢者の語りから - 11
松岡 牧 小笠原広実
守屋 治代 見城 道子 尾岸恵三子

- クラシックバレエの回転動作における体軸調整
- ピルエットの場合 - 23
村松 香織

< 総 説 >

- 「手術看護」に関する文献レビュー
- 体位に焦点をあてて - 33
立身 静 江川 知子
佐藤 紀子 西田 文子

- 日本における腹臥位手術時の援助に関する過去5年間の文献検討 41
江川 知子 立身 静
佐藤 紀子 西田 文子

< その他 >

- 英語助動詞の多義性の分析：関連性理論と認知言語学の視点から 47
大館 実子

紀要規程

投稿規程

■ CONTENTS

〈Special Contribution〉

- EVOLUTION OF PHOTORECEPTORS AND EYES
—ON THE SPECIFICITY OF *ONCHIDIUM* DORSAL EYE— 1
Yasuo KATAGIRI

〈Original Articles〉

- FACTORS AFFECTING DIETARY TRADITION AMIDST CHANGE OF DIETARY HABITS
—INTERVIEWS WITH ELDERLY PEOPLE LIVING IN AGRICULTURAL SOCIETY— 11
**Maki MATSUOKA Hiromi OGASAWARA
Haruyo MORIYA Michiko KENJOH Emiko OGISHI**

- BODY CONTROL OF THE ROTATION AXIS IN CLASSICAL BALLET ROTATIONS
—PIROUETTES— 23
Kaori MURAMATSU

〈General Statement〉

- LITERRATURE REVIEW WITH REGARD TO SURGICAL NURSING
—FOCUSING ON BODY POSTURE— 33
Shizu TATSUMI Tomoko EGAWA Noriko SATO Fumiko NISHIDA

- DURING FIVE YEARS REVIEW ON PHYSICAL SUPPORT
FOR THE PRONE POSITION BY NURSES IN THE OPERATING ROOM IN JAPAN 41
Tomoko EGAWA Shizu TATSUMI Noriko SATO Fumiko NISHIDA

〈Others〉

- AN ANALYSIS OF MODAL AUXILIARIES FROM TWO PERSPECTIVES:
THE RELEVANCE-THEORETIC VIEW AND THE COGNITIVE LINGUISTIC VIEW 47
Jitsuko ODATE

東京女子医科大学看護学部紀要規程

(平成 10 年 4 月 1 日制定)

(平成 14 年 4 月 1 日改定)

- 第 1 条 東京女子医科大学看護学部（以下本学部という）は、研究業績を発表するための学術論文集を発行する。
- 第 2 条 この学術論文集の名称は、東京女子医科大学看護学部紀要（以下紀要という）とする。
- 第 3 条 紀要の刊行回数は、年 1 回とし、原則として毎年度 2 月末日までの期間に発行する。
- 第 4 条 紀要に掲載する論文は研究原著・調査・資料・総説・ケーススタディー・評論・その他とし、未発表のものに限る。
- 第 5 条 紀要の投稿資格は本学部・大学院看護学研究科・本学看護専門学校の専任教員および非常勤教員、本学付属病院看護職員、本学看護系卒業生および在学生とする。
ただし、卒業生および在学生の場合は、本学部の専任教員を経て投稿しなければならない。
- 第 6 条 紀要の編集・発行は、紀要委員が行う。
- 第 7 条 紀要委員会の構成は、教授・助教授・講師・助手から各 1 名、計 4 名とし、教授が委員長となる。
その任期は、会計年度 2 カ年とし、再任を妨げない。
- 第 8 条 掲載論文の審査は、当該専門科目の教授が行う。
ただし、必要に応じて、他の専門科目の教授および助教授を加えることができる。
- 第 9 条 紀要委員会は、企画全体に照らして疑義のあるときには、論文掲載の拒否または内容の再検討を求めることができる。
- 第 10 条 応募論文の様式その他については別に定める。
- 附則 この規程は平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

東京女子医科大学看護学部紀要投稿規程

1. 論文の種類

- 1) 論文の種類は、原著・総説・資料・ケーススタディ・評論・その他とし、著者は、原稿にそのいずれかを明記するものとする。
- 2) 投稿論文は未発表のものに限る。

2. 投稿論文の1編は原則として論文の種類を問わず、図および表を含めて下記の枚数内にとどめることとする。

原著	1編	30枚
総説	1編	25枚
資料	1編	25枚
ケーススタディ	1編	25枚
評論	1編	25枚
その他	1編	20枚

但し、英文論文の場合は、A4版ダブルスペースで、20枚以内とする。

3. 執筆要領

- 1) 原稿は、A4版横書き（20字×20行）とし、ワープロによる記載を原則とする。場合によっては400字詰め原稿用紙にペン書き（青または黒）をも可とする。ワープロの場合は、できるだけテキストファイルに入力し、原稿提出の際に使用ワープロ機種名・ソフト名を記入したフロッピー・ディスクも一緒に提出する。
- 2) 論文は正1部、副（コピー）2部を提出する。論文にはページ番号を入れる。
- 3) 論文には表紙をつけ、論文題名、英文題名（すべて大文字）、著者名（ローマ字とも）、所属機関名（英文名とも）、図、表および写真などの数、希望する原稿の種類、投稿者の連絡先（住所・電話（fax）番号・e-mailアドレス）を記入する。
- 4) 論文には、400字程度の和文要旨と250語以内の英文要旨を添え、日本語および英語のキーワードを各4語ずつ加える。
- 5) 外来語はカタカナで、外国人名、適当な日本語訳がない述語などは原則として活字体の原綴りで書く。
- 6) 略語は、初出時に正式用語またはスペルを記載する。
- 7) 度量衡の単位、記号は国際単位系（SI）を原則とする。
- 8) 英文論文および英文summaryはnative speakerの校閲を受け、その証明を添付する。
- 9) 図、表および写真は、図1、表1、写真1等の番号をつけ、本文とは別に一括し、本文の原稿の右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。
- 10) 文献は引用文献のみとし、APAに準じ下記のようにする。参考文献は記載しない。
 - (1) 文献については本文中に著者名、発行年次を括弧表示する。
 - (2) 文献は著者名のアルファベット順に列記する。但し、共著者は3名まで表記する。

①雑誌掲載論文

著者名（発行年次）：論文の表題、掲載雑誌名、巻（号）、最初のページ数－最後のページ数。

②単行書

著者名（発行年次）：書名（版数），出版社名，発行地。

著者名（発行年次）：論文の表題，編者名，書名（版数），ページ数，出版社名。

③訳本

原著者名（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）：翻訳書の書名（版数），出版社名，発行地

4. 著者校正

著者校正は初校までとする。但し、校正の加筆は認めない。

5. 著作権

著作権は紀要委員会に帰属する。掲載後は、紀要委員会の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。

著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、論文とともに提出する。

6. 著者が負担すべき費用

1) 別刷料：別刷は30部まで無料で呈する。30部を越える部数については実費負担とする。

2) 規定の枚数を超過した原稿、図表等、印刷上特別な費用を必要とした場合は、その分につき実費負担とする。

7. 原稿の提出先

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学看護学部 紀要委員会

8. 原稿の締切

原稿の締切は毎年9月第2金曜日（必着）とする。

東京女子医科大学 看護学部紀要への著作権譲渡同意書

年 月 日

東京女子医科大学 看護学部紀要委員長 殿

論文名：

上記論文を貴誌に投稿いたします。この論文は他誌に未発表であり、また投稿中でもありません。採用された場合には、この論文の著作権を東京女子医科大学看護学部紀要委員会に委託すること、また同委員会と契約を交わしたWeb上に要旨を掲載することを同意いたします。なお、共著者の全員が原稿に眼を通し内容を熟知しており本論文の内容に関しては、著者が一切の責任を負うことを了承します。

署名 _____ 印

署名：共著者全員の署名が必要です

①	⑤
②	⑥
③	⑦
④	⑧

編集後記

都会の早朝の朝の景色は冬から確実に早春の色に変わり、今年度も紀要をお届けする季節になりました。看護学部の誕生とともに成長してきました紀要も、今年で7巻目を発行することになりました。来年がどのような年になるのか楽しみにしつつ、次号に向けたみなさまの投稿をお待ちしております。 (佐藤)

今回の紀要編集のさなかに、新潟中越、スマトラと相次いで大きな地震がありました。その後も、釧路沖、茨城、兵庫、奄美大島付近で震度4を超す地震が多発しています。どうやらプレートの活動時期にはいったようです。最近は雲、動物、FM波などを用いた予知が行われているようですが、より精度の高い予知ができるといいのですが……。 (飯島)

今年は台風、地震、津波など自然災害に見舞われた大変な年でしたが、今年も無事、東京女子医大関係者様の研究成果を残す作業の一つをお手伝いすることができ、うれしく思っています。 (小長谷)

今回は、非常勤講師の先生や大学院生からも投稿があり、紀要の投稿者層も一段と幅広くなりました。新しく生まれた東京女子医科大学看護学会とともに、紀要の今後の発展もとても楽しみです。 (江波戸)

今年は、世界的な規模で災害続きの1年でした。こうした状況の中で、「看護の役割」について何かと考えさせられました。第7巻となりました紀要が本学の発展に寄与できるものとなりますことを心より願っています。 (原)

初めて紀要編集に関わらせて頂きました。新しい命を授かり、任を最後まで勤め上げることはかないませんでした。多くのことを学ばせて頂きました。委員会のみなさまに、そしてこのような機会を与えて頂いたことに心より感謝申し上げます。 (北)

紀 要 委 員 会

委員長：佐藤 紀子

委員：飯島 治之

小長谷百絵

江波戸和子

原 三紀子

北 素子

東京女子医科大学看護学部紀要
第7巻

2005年2月10日発行

発行者：東京女子医科大学看護学部
東京都新宿区河田町8-1
電話 03(3353)8111(代)

印刷・製本：協和印刷工業株式会社
東京都目黒区原町1-15-14
電話 03(3793)2531(代)